

第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略該当部分抜粋

4 安全・安心な暮らしが続けられ、住むなら日進といわれるまちを創る

4-1. 基本的方向

だれもが、いつまでも不安や心配なく本市で生活していくためには、安全・安心で快適な環境であることが必要です。

すべての世代が快適で暮らしやすいまちをめざし、防災、防犯、公共施設の老朽化対策、感染症対策等を進めるとともに、従来の公共交通機関だけでなく、多様な交通手段の導入について検討を進め、移動支援の取組を推進します。

また、住宅都市として「住みやすく暮らしやすい」という本市の地域ブランドを強化するとともに、地域資源（ひと・もの・こと）を積極的に市内外へ向けて情報発信し、「住むなら日進」と思える、愛着と誇りを持てる地域社会を育んでいきます。

4-2. 数値目標

基本目標4の達成度を評価するための数値目標は次のとおりです。



数値目標

項目	初期値	目標値
災害対策に対する満足度（％）	28.5 （2020年度）	48.0
防犯や治安に対する満足度（％）	36.3 （2020年度）	43.3
公共交通の利便性に対する満足度（％）	25.6 （2020年度）	30.0
日進市を住み心地のよいところだと感じる市民の割合（％）	77.2 （2020年度）	80.5

4 安全・安心な暮らしが続けられ、住むなら日進といわれるまちを創る

施策4-1 安全・安心な暮らしと便利な地域交通網の実現



安全・安心で快適な暮らしは、若い世代から高齢者まで、住みたいまちの基本的な機能として求められています。市民の安全・安心を確保するため、防災、防犯、公共施設の老朽化対策、感染症対策等について、自助・互助・共助・公助※16を意識して、効果的・効率的な対応を図ります。

また、将来的に高齢者が増加すると、車の運転ができず、市内外の移動や通院、買い物等が不便になり、住みづらいつと感じる市民が増加する可能性があるため、地域交通のニーズはさらに拡大・多様化することが想定されます。本市が運営する「くるりんばす」の利便性向上のほか、地域公共交通を補完する施策を展開し、市民に最も身近な地域交通網の利便性向上・拡充を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

項目	初期値	目標値
自主防災組織の世帯カバー率 (%)	92.7 (2019年度)	100
消防団員の定員充足率 (%)	85.0 (2019年度)	100
刑法犯認知件数(人口1,000人あたり)(件)	4.8 (2018年度)	3.9
くるりんばすの利便性に対する満足度 (%)	12.5 (2020年度)	22.5

※16 自助・互助・共助・公助：自分でできることは自分でする「自助」、隣近所や友人知人とお互いに支え合い助け合う「互助」、社会保険制度や介護保険等の制度化された相互扶助である「共助」、自助・互助・共助でも支えることが出来ない問題に対して、最終的に対応する「公助」をいう。



主な事業内容

事業名	事業内容
交通安全対策事業（通学路交通安全プログラム整備事業）	歩行者が安全で快適に通行できるよう歩道を整備し、バリアフリー化した歩道や児童生徒のための通学路整備を行います。
公立保育園環境改善事業（保育園防犯対策事業）	子どもや保護者が安心して保育園等の子育て支援施設を利用できるよう、防犯カメラを設置します。
防犯施設維持整備事業（防犯環境整備事業、防犯カメラ設置費補助事業）	防犯灯、防犯カメラの設置や地域の防犯カメラの設置費補助により、防犯環境の充実を図ります。
災害対策推進事業（地域強靱化計画等の浸透・災害対策本部の設置訓練）	緊急時に迅速な対応ができるよう、職員に対して、本市の地域防災計画や業務継続計画、地域強靱化計画等の各種計画の浸透を図るとともに、職員向けの災害対策本部の設置訓練等を実施することで、能力の向上を図ります。
道路長寿命化事業	道路施設の老朽化に対する計画を策定し維持管理を行います。また、橋梁や歩道橋については、予防保全の観点から長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を実施するとともに、5年に1回の定期点検を行います。
管路改良事業（下水道施設の老朽化対策）	持続的な下水道機能確保のため、処理施設の計画的な修繕と老朽化施設の改築を検討し、より一層効率的・効果的なストックマネジメントの推進を図ります。
災害対策推進事業（民間事業者等との災害時協定の締結）	民間事業者及び大学等との協力体制を強化し、災害時における物資や資機材の調達、避難所としての場所提供等の締結について拡充を図ります。
消防団事業（地域消防力強化事業）	消防団員の確保とともに、機能別消防団員等、新たな体制の導入を検討します。
災害対策推進事業（業務継続計画の策定及び緊急時訓練の実施）	新型コロナウイルス感染症等、新たな感染症の発生や庁内情報システムに対する外部からのサイバー攻撃等に対応できるよう、業務継続計画・対策マニュアルの作成やシミュレーション訓練の実施等、各種の取組を推進し、様々な危機に対して備えます。
新型インフルエンザ等対策事業	新興・再興感染症対策として、死亡率、感染率等を考慮した日進市新型インフルエンザ等対策行動計画をもとに、初期発生段階からの国内外、県、他自治体の情報収集及び市民への迅速な情報提供を行い、市民生活の混乱を防ぐとともに、市民一人ひとりの的確な予防行動を促します。

事業名	事業内容
公共交通対策事業（くるりんばす運行事業、くるりんばす利用促進事業）	<p>本市の発展に合わせた移動需要の変化や市民の要望等を踏まえ、くるりんばすと民間路線バス、鉄道等の役割分担を明確にし、新たな地域公共交通計画を策定して市内交通網の改善・充実を図ります。</p> <p>また、公共施設が集積する市中心部と鉄道駅を南北に結ぶ民間バス路線を、本市の公共交通軸として位置づけ、利用促進と路線維持に努めます。</p>
公共交通対策事業（移動支援事業）	<p>くるりんばす以外の移動支援について多角的な視点から研究し、くるりんばすではカバーできない移動需要に対して相互連携を図ります。</p>
産学官モビリティ共同研究事業	<p>自動運転技術の公共交通への応用等、新しい技術が活用できるよう、情報の収集に努め、導入をめざします。</p>
地域福祉推進事業（高齢者等移動支援推進事業）	<p>福祉有償運送・住民主体の互助による輸送等、地域での支え合いによる移動の取組を支援します。</p>